

利賀っ子だより



R4. 2. 9

○ 学校評議委員会より

ご多用の中、そして、大雪の中、評議員の皆様がご来校くださり、第2回学校評議委員会を行いました。授業参観いただいた後、小学校と中学校の今年度の取組や学校評価の結果等や来年度の方向性について説明したりしました。質疑応答では、今年度から始まった「南砺利賀みらい留学制度」に関する事、バス運行の事、新型コロナウイルス感染症の流行に備えたタブレットの活用のこと等にご意見をいただきました。

いただいたご意見を今後の学校運営に生かし、学校、保護者の方々、地域の方々、留学センターの指導員の方々と連携、協力、分担して、利賀っ子のよりよい成長のために努めてまいります。

学校評議員の皆様 ありがとうございました。

○ 利賀っ子の成長



【朝の会の一コマ】

話を聴く

左の写真は、朝の会の様子です。話を聴いている子供たちは、スピーチをしている子供に意識を集中させて話を聴いています。

今年度の目標「相手の気持ちを考える」は、話を聴く場面では「何を伝えようとしているのかを考えて聴くこと」であると折に触れて指導してきました。それが、子供の姿となって表れていることを見ることができ嬉しく思いました。

意見を伝える

右の写真は、今月末に予定している小中合同の「スノーフェスティバル」について相談しているところです。雪でどんなものを作るか意見を出し合っていました。

中学生が話しやすい雰囲気をつくって話を進め、良い手本を示していたことも要因の一つですが、小学生は中学生に臆することなく自分の意見とその理由を次々と述べていました。

「根拠や理由をつけて話す」ことを指導してきた一端を見た気がしました。



【中学生との話し合い】

今学期も残すところあと2か月を切りましたが、子供たちの力を最大限に伸ばすことができるよう精一杯の支援をしていきたいと思っております。 (高田 公美)